**「多言語音声翻訳システムの利活用実証」の公募に関する**

**【別紙3】**

**提案書作成要領**

以下のとおり定めます。

**１　提案書類の構成**

■　提案書

［様式1］基本事項及び実施体制

［様式2］利活用実証概要説明書

［様式3］実施計画説明書

**２　提案書類の規格**

　　提案書類の用紙はすべて日本工業規格A4版とし、事業者等のロゴ、名称等の入った用紙は使用しないでください。また、提案書はすべて日本語で作成し、ページ番号を付してください。

**３　作成要領**

　　提案書は、代表責任者が、利活用実証に関わるすべての事業者の総意に基づいて記入してください。記入に際しては、以下の事項について注意をお願いします。

1. 提案書は、利活用実証全体の実施期間に亘る全体計画を基に記入してください。
2. 代表責任者は、実施団体における方針及び体制の決定等全般を総括する者とし、事務担当者は、利活用実証の実施に係る進捗管理及びとりまとめ機関との調整等の事務全般を担当する者とします。なお、代表責任者と事務担当者は同一者でもよいこととします。
3. 実施計画説明書 [様式3] は実施主体ごとに作成してください。なお、実施施設・利活用シーンが複数ある場合は、各々分けて実施計画を作成してもかまいません。
4. 提案書に虚偽の記載があった場合には、選定を決定した後であっても決定を取り消す場合があります。

**４　提出書類**

　　応募に当たっては、提案書（［様式1］～［様式3］）のほか、必要に応じて補足資料等を提出してください。必要な部数は、以下のとおりとします。

　　・提案書（［様式1］～［様式3］） 10部

　　・必要に応じて補足書類（様式自由）　　 10部

　　・提案書全体を保存した電子媒体（CD又はDVD） 1式

**[様式1]**

平成　　年　　月　　日

**基本事項及び実施体制**

|  |
| --- |
|  **１　テーマ、コンセプト**（1）テーマ、コンセプト　　※利活用実証を通して達成したい地域の姿を踏まえ、テーマ、コンセプトを記述してください。（2）テーマ、コンセプトの説明　　※テーマ、コンセプトを設定した背景(環境、課題)や目的、実現したい姿等について記述してください。**２　代表責任者**　　氏名：　　所属：　　住所：　　電話：　　　　　　　　（内線）　　FAX：　　E-mail：**３　事務担当者**　　氏名：　　所属：　　住所：　　電話：　　　　　　　　（内線）　　FAX：　　E-mail：**４　実施体制**　　※利活用実証の全部又は一部を複数の法人等が共同して実施する場合は、各事業者の役割と責任を明確に記述してください。また利活用実証に参加する施設名、施設数についても記述してください。　　※樹形図を用いるなど組織体系を分かりやすく示してください。（例）代表責任者：○○　○○（Ａ社）　　　　　事務担当者：○○　○○（Ｂ社）　　　　　　　　××に関する利活用実証　　　　　　　　　　　・担当　　　　　　　　　代表者　　：○○　○○（Ａ社）　　　　　　　　　　　　　補助者　　：○○　○○（Ｂ社）　　　　　　　　　　・使用する主な機器　　　　　　　　　　　　　○○○○（リース）　　　　　　　　　　　　　○○○○（既存設備）　　　　　　　　△△に関する利活用実証　　　　　　　　　　　・担当　　　　　　　　代表者　　：○○　○○（Ｂ社）　　　　　　　　　　　　　補助者　　：○○　○○（Ｃ研究所）　　　　　　　　　　・使用する主な機器　　　　　　　　　　　　　○○○○（リース）　　　　　　　　　　　　　○○○○（既存設備） |

1. 枚数に制限はありません。また、必要な場合には補足説明図（A4版）等を添付してください。
2. 提出に当たっては、**赤字部分は消してください**。

**[様式2]**

平成　　年　　月　　日

**利活用実証概要説明書　※全体構想**

|  |
| --- |
| **１　利活用実証の全体像**　　※提案する利活用実証の全体像をテーマ、コンセプトに即した形で記述してください。**２　多言語音声翻訳システム高度化への貢献**（1）翻訳精度向上への貢献　　※登録単語数、対訳数の目標及びその収集方法について具体的に記述してください。（2）アプリの使いやすさ向上への貢献　　※翻訳アプリの使いやすさ向上につながる課題抽出のために、工夫するあるいは独自に調査を実　　　施する事項について具体的に記述してください。（3）特記事項　※翻訳アプリの使用機会が増えるほど翻訳精度の向上や使いやすさ向上のための課題抽出の機会が得られることになります。利活用をより促進するための工夫等があれば記述してください。**３　多言語音声翻訳システムの継続的な取組**　　※実施期間終了後、地域において民間事業者等により提供される多言語音声翻訳システムをどのように利活用していくか等の将来の展望について、具体的に記述してください。**４　その他自由記述（不要な場合は空欄で構わない）**　　※上記の他にPRすべき点があれば、記述してください。 |

（注１）枚数に制限はありません。また、必要な場合には補足説明図（A4版）等を添付してください。

（注２）提出に当たっては、**赤字部分は消してください**。

**[様式3]**

平成　　年　　月　　日

**実施計画説明書（実施主体：○○○○）**

|  |
| --- |
| **１　実施施設**（1）実施施設の概要　　※実施施設名を記述してください。実施施設内の複数業態を予定している場合は、その業態名もそれぞれ記述してください。　　（2）実施施設の現状　　※実施施設の現状（特徴、来訪客の人数、課題、ニーズ、導入済のコミュニケーションツール等）　　　を、多言語音声翻訳システム導入の必要性が分かるように具体的に記述してください。**２　実施の概要**（1）実施期間　　※平成29年度における実施期間を記述してください。（2）利活用シーンの詳細　　※翻訳アプリの利活用シーンについて、具体的に記述してください。　　※当該実施施設における利活用時において、工夫する点又は独自調査等を実施する場合には、併せて記述してください。（3）アウトプット　　※どの程度の利活用数が見込まれるか等を記述してください。　　（4）実施期間終了後の利活用予定　　※実施期間終了後の、実施施設における多言語音声翻訳システムの利活用の姿について、具体的に記述してください。**３　その他自由記述（不要な場合は空欄で構わない）**　　※実施施設において利活用実証を実施することによる効果、他の地域やサービス等への波及効果等、　　　PRすべき点があれば記述してください。 |

（注１）実施場所・シーンが複数ある場合は、各々分けて実施計画を作成してもかまいません。

（注２）枚数に制限はありません。また、必要な場合には補足説明図（A4版）等を添付してください。

（注３）提出に当たって、**赤字部分は消してください**。